

第51回

四国地区高等専門学校体育大会

剣道競技

平成26年7月20日(日)～21日(月)

香川高等専門学校詫間キャンパス
第2体育館

主 催 香川高等専門学校詫間キャンパス



あいさつ

第51回四国地区高等専門学校体育大会
会長 八尾 健

四国地区高等専門学校体育大会が始まります。今年で第51回を数える、歴史と伝統のある大会です。香川高専詫間キャンパスがとりまとめ役となり、四国各地で競技を行います。7月4日のテニスを皮切りに、7月20日～21日を中心にして、13の競技種目が各地で開催されます。また、ラグビーフットボールは、来年1月に開催される全国大会に合わせ、四国大会は11月に行います。

本大会は、スポーツを通して身体を鍛え、技術の向上とフェアプレー精神の涵養を図り、心身ともに健全な学生の育成に努めるとともに、四国地区5高専学生の、互いの交流、親睦を深めることを目的としています。

高等専門学校では、創造性豊かな実践的技術者を育成することを教育目標としています。技術も多分に人間性の現れであり、授業であったり、課外活動であったり、いろいろな教育の場における人間形成の教育が重要です。高等専門学校では、体育系あるいは文化系いずれの課外活動にも積極的に取り組んでいます。体育系の課外活動は、全力でスポーツに打ち込むことにより、身体面、精神面の両面にわたり大きな成長を促すものです。将来、社会の中で実践的技術者としてアクティブに活躍するための礎となるでしょう。

本大会は、選手の皆さんにとって、日頃の鍛錬の成果を発揮できる絶好の機会になるでしょう。また、本大会で優秀な成績を取めた場合、全国大会への出場権を獲得することもできます。正々堂々、精一杯、力の限りを尽くして、競技をしてください。そして、競技が終了した後は、互いに交流を深め、新たな友情の輪を広げてほしいと思います。またご観戦される皆様方には、全力を尽くして競技する選手達に、温かい応援を送っていただきたいと思ひます。

最後になりましたが、本大会の開催に当たり多大のご指導とご支援を賜りました関係諸団体並びに関係者の皆様に心から御礼申し上げますとともに、学生の課外活動に、ご指導、ご尽力いただいている監督や部長、日頃から様々ご支援を頂いている保護者の皆様、さらには大会の準備や運営を支えていただきました多くの教職員、学生の皆様に、深く感謝いたします。

大会役員

会長	香川高専詫間キャンパス	校長	八尾 健	運営委員	香川高専詫間キャンパス	教務主事	澤田 士朗
副会長	阿南工業高等専門学校	校長	吉田 靖	〃	〃	学生主事	矢木 正和
	弓削商船高等専門学校	校長	木村 隆一	〃	〃	体育教員	有馬 弘智
〃	香川高専高松キャンパス	校長	八尾 健	〃	〃	事務部長	倉持 光雄
〃	高知工業高等専門学校	校長	船橋 英夫	〃	〃	学生課長	水間 貫了
〃	新居浜工業高等専門学校	校長	鈴木 幸一	競技委員長	香川高専詫間キャンパス	体育教員	有馬 弘智
運営委員長	香川高専詫間キャンパス	学生主事	矢木 正和	競技委員	阿南工業高等専門学校	体育教員	新井 修
運営委員	阿南工業高等専門学校	教務主事	岩佐 健司	〃	弓削商船高等専門学校	体育教員	水崎 一良
〃	〃	学生主事	坪井 泰士	〃	香川高専高松キャンパス	体育教員	吉澤 恒星
〃	〃	体育教員	新井 修	〃	高知工業高等専門学校	体育教員	市村 梨乃
〃	〃	事務部長	山下 文一	〃	新居浜工業高等専門学校	体育教員	安藤 進一
〃	〃	学生課長	原塚 量之	専門部長	陸上競技	香川高専詫間キャンパス	横山 学
〃	弓削商船高等専門学校	教務主事	多田 光男	〃	バレーボール男	弓削商船高等専門学校	山崎 慎也
〃	〃	学生主事	葛目 幸一	〃	バレーボール女	弓削商船高等専門学校	野口 隆
〃	〃	体育教員	水崎 一良	〃	ソフトテニス	新居浜工業高等専門学校	佐渡 一邦
〃	〃	事務部長	須賀 達也	〃	卓球	弓削商船高等専門学校	藤井 清治
〃	〃	学生課長	藤沢 博伸	〃	サッカー	新居浜工業高等専門学校	安藤 進一
〃	香川高専高松キャンパス	教務主事	平岡 延章	〃	バスケットボール男	阿南工業高等専門学校	釜野 勝
〃	〃	学生主事	中瀬 巳紀生	〃	バスケットボール女	阿南工業高等専門学校	城本 春佳
〃	〃	体育教員	吉澤 恒星	〃	柔道	阿南工業高等専門学校	加藤 研二
〃	〃	事務部長	倉持 光雄	〃	剣道	香川高専詫間キャンパス	川染 勇人
〃	〃	学務課長	向井 将一	〃	硬式野球	香川高専高松キャンパス	伊藤 勉
〃	高知工業高等専門学校	教務主事	秦泉寺 俊弘	〃	水泳競技	香川高専高松キャンパス	福井 智史
〃	〃	学生主事	福島 英倫	〃	テニス	高知工業高等専門学校	土居 俊房
〃	〃	体育教員	市村 梨乃	〃	バドミントン	高知工業高等専門学校	西内 悠祐
〃	〃	事務部長	澤田 利夫	〃	ラグビーフットボール	阿南工業高等専門学校	一森 勇人
〃	〃	学生課長	立花 広枝	〃	ハンドボール	高知工業高等専門学校	芝 治也
〃	新居浜工業高等専門学校	教務主事	早瀬 伸樹				
〃	〃	学生主事	大村 泰				
〃	〃	体育教員	安藤 進一				
〃	〃	事務部長	飯野 明正				
〃	〃	学生課長	井手 克美				

第51回四国地区高等専門学校 体育大会要項

- 1 主催 香川高等専門学校詫間キャンパス 阿南工業高等専門学校
弓削商船高等専門学校 香川高等専門学校高松キャンパス
高知工業高等専門学校 新居浜工業高等専門学校
- 2 共催 四国地区高等専門学校体育協議会
- 3 後援 徳島県教育委員会, (公財) 徳島県体育協会, 阿南市, 阿南市教育委員会, 阿南市体育協会, (社) 徳島新聞社, 四国放送(株), NHK徳島放送局
高知県, 高知県教育委員会, (公財) 高知県体育協会, 高知市, 高知市教育委員会, 高知市体育会, 香南市, 香南市教育委員会, 香南市体育協会, 南国市, 南国市教育委員会, 南国市体育協会, NHK高知放送局, 高知新聞社, RKC高知放送, KU TVテレビ高知, KSSさんさんテレビ, エフエム高知
愛媛県, 愛媛県教育委員会, (公財) 愛媛県体育協会, 新居浜市, 新居浜市教育委員会, 新居浜市体育協会, 上島町, 上島町教育委員会, 上島町体育協会, 西条市, 西条市教育委員会, (公財) 西条市体育協会, 愛媛新聞社, NHK松山放送局, 南海放送, 愛媛朝日テレビ, テレビ愛媛, あいテレビ, ハートネットワーク
香川県, 香川県教育委員会, (公財) 香川県体育協会, 高松市, 高松市教育委員会, 高松市体育協会, さぬき市, さぬき市教育委員会, さぬき市体育協会, 三豊市, 三豊市教育委員会, 三豊市体育協会, NHK高松放送局, 四国新聞社
- 4 担当校 香川高等専門学校詫間キャンパス 電話(0875)-83-8517
- 5 開催校 阿南工業高等専門学校 弓削商船高等専門学校
香川高等専門学校高松キャンパス 高知工業高等専門学校
新居浜工業高等専門学校 香川高等専門学校詫間キャンパス
- 6 大会期日 平成26年7月4日(金)～6日(日), 12日(土)～13日(日), 18日(金)～21日(月) [ただし, ラグビーフットボールは11月16日(日)]

7 競技種目・競技開催日・開催校・競技会場

競技種目	競技開催日	開催校	競技会場
陸上競技	7月12日(土)・13日(日)	香川高専詫間	香川高等専門学校詫間キャンパス陸上競技場
バレーボール	男子 7月20日(日)・21日(月)	弓削商船高専	西条市総合体育館
	女子 7月20日(日)・21日(月)		西条市総合体育館
ソフトテニス	7月20日(日)・21日(月)	新居浜高専	新居浜工業高等専門学校テニスコート
卓球	7月20日(日)・21日(月)	弓削商船高専	上島町弓削体育館
サッカー	7月20日(日)・21日(月)	新居浜高専	新居浜市営サッカー場

競技種目		競技開催日	開催校	競技会場
バスケットボール	男子	7月20日(日)・21日(月)	阿南高専	阿南市那賀川スポーツセンター
	女子	7月20日(日)・21日(月)		阿南市那賀川スポーツセンター
柔道		7月12日(土)・13日(日)	阿南高専	徳島県立中央武道館
剣道		7月20日(日)・21日(月)	香川高専詫間	香川高等専門学校詫間キャンパス第2体育館
硬式野球		7月18日(金)・19日(土)・20日(日)	香川高専高松	アークバリアベースボールパーク津田 (香川県さぬき市津田町総合公園)
水泳		7月12日(土)・13日(日)	香川高専高松	香川高等専門学校高松キャンパスプール
テニス		7月4日(金)・5日(土)・6日(日)	高知高専	高知県立春野総合運動公園テニス場
バドミントン		7月12日(土)・13日(日)	高知高専	高知県立青少年センター体育館
ラグビーフットボール		11月16日(日)	阿南高専	徳島市球技場
ハンドボール		7月13日(日)	高知高専	南国市立スポーツセンター

8 参加人員

競技種目		監督	コーチ	マネージャー	男子選手	女子選手	計	備考
陸上競技		1	1	1	34		37	
バレーボール	男子	1	1	1	14		17	
	女子	1	1	1		14	17	
ソフトテニス		1	1	1	12	6	21	
卓球		1	1	1	10	4	17	
サッカー		1	1	1	17		20	
バスケットボール	男子	1	1	1	15		19	アシスタントコーチ1名含む
	女子	1	1	1		15	19	アシスタントコーチ1名含む
柔道		1	1	1	11	2	16	
剣道		1	1	1	10	3	16	
硬式野球		1		1	18		21	部長1名含む
水泳		1	1	1	21		24	
テニス		1	1	1	10	6	19	
バドミントン		2		2	12	6	22	
ラグビーフットボール		1	1	1	25		28	
ハンドボール		1	1	1	16		20	チーム役員1名含む

9 開会式・閉会式

- (1) 総合の開会式及び閉会式は実施しない。
- (2) 種目別開会式及び閉会式については、各競技種目別実施要項による。

10 参加資格 四国地区高等専門学校体育協議会加入の高等専門学校の学生とする。

11 参加申込 各競技種目別実施要項による。

12 競技方法

- (1) 種目別学校対抗競技とする。
- (2) 競技種目別実施要項による。
- (3) 荒天等及び突発的的事故により競技ができない場合の措置について
 - ア 該当種目の専門部長が、専門部委員及び審判長を招集して審議し、最終決定を開催校校長が行う。
 - イ 中止した種目の全国大会出場については、専門部長を中心として専門部委員で審議し、最終決定を開催校校長が行う。
- (4) その他、競技運営上問題が生じたときは、該当種目の専門部長が専門部委員及び審判長を招集し審議し、最終決定を開催校校長が行う。

13 競技の組合せ

各競技種目別実施要項による。

14 表彰

- (1) 総合表彰
 - ア 総合優勝校に、表彰状及び優勝旗を授与する。
 - イ 準優勝校に、表彰状及び準優勝トロフィーを授与する。
 - ウ 優勝旗及び準優勝トロフィーは、持ち回りとする。返還の際、レプリカを授与する。
 - エ 返還及びレプリカ授与は、四国地区高等専門学校体育大会陸上競技の開会式で行う。
 - オ 表彰は、四国地区高等専門学校総合文化祭において行う。
- (2) 団体表彰
 - ア 優勝チームに、表彰状、優勝杯及びメダルを授与する。
(メダルについては、陸上競技及び水泳を除く。)
 - イ 準優勝チームに、表彰状を授与する。
 - ウ 優勝杯は、持ち回りとする。返還の際、レプリカを授与する。
- (3) 個人表彰
各競技種目の個人戦の1位に、表彰状及びメダルを、2・3位に、表彰状を授与する。

15 総合順位の決定方法

- (1) 競技種目（6の競技種目に記載された団体種目で参加校が4校以上の種目）の得点合計の順位によって総合順位を決定する。
- (2) 各競技種目の得点は、競技参加校が6校の場合は、1位6点、2位5点、3位4点、4位3

点、5位2点、6位1点とし、参加校が5校以下の場合には、参加校数に応じて各順位得点を減じる。引き分け又は雨天等のため順位決定戦が行われなかった場合は、順位得点の合計を等分する。

(3) 総合得点が同点の場合は、競技種目の上位入賞種目数の多寡による。

(4) 雨天等のために中止となった種目については、得点の対象から除外する。

16 全国大会出場資格

本大会における成績により、地区代表として推薦され、かつ、学校長の出場証明書及び健康診断証明のある者とする。

なお、地区代表として推薦する者は、次のとおりとする。

(1) 陸上競技は、各種目上位3名、リレーは2チーム、女子は各種目2名以内

(2) バレーボール男子、バレーボール女子、ソフトテニス、卓球、サッカー、バスケットボール男子、バスケットボール女子、柔道、剣道、硬式野球、テニス、バドミントン、ラグビーフットボール、ハンドボールの団体競技戦にそれぞれ優勝したチーム。ただし、バレーボール男子（前年度優勝地区枠）及びサッカー（1.5枠）は準優勝したチームも出場。

(3) ソフトテニスの個人戦は、男子上位3組、女子は上位2組以内

(4) 卓球の個人戦は、男子はシングルス上位2名、ダブルス上位2組、女子はシングルス上位2名以内、ダブルス上位2組以内

(5) 柔道の個人戦は、男子は各階級（60kg級、73kg級、90kg級、90kg超級）それぞれ上位2名、女子は各階級（48kg級、52kg級、63kg級、63kg超級）それぞれ上位3名以内

(6) 剣道の個人戦は、男子上位4名、女子は上位2名以内

(7) テニス男子の個人戦は、シングルス上位2名、ダブルス上位2組、テニス女子の個人戦は、シングルス上位2名以内、ダブルス上位2組以内

(8) バドミントン男子の個人戦は、シングルス上位2名、ダブルス上位2組、バドミントン女子の個人戦は、シングルス上位2名以内、ダブルス上位2組以内

(9) 水泳は、男子は各種目上位3名、リレーは2チーム、女子は各種目上位2名以内、リレーは2チーム

(10) 地区代表として1名（女子は含まない。）も推薦されない学校については、その学校の最も優れた個人競技のいずれかの1種目（陸上競技1名、ソフトテニス1組、卓球シングルス1名又はダブルス1組、柔道1名、剣道1名、テニスシングルス1名又はダブルス1組、バドミントンシングルス1名又はダブルス1組、水泳1名）の選手（女子は除く。）を該当校が選考して出場させることができる。

17 代表者会議

各競技種目別実施要項による。

18 選手の変更

参加申込後の選手の変更は原則として認めない。ただし、特別の理由があるときは、代表者会議で認めることがある。

(変更願は、開催校所定の様式による。)

19 大会分担金

分担金は、徴収しない。

20 その他

- (1) 競技中の選手の負傷については、開催校側が応急処置を施すが、その後の責任は負わない。
- (2) 選手の不測の事故に備えて、健康保険証を必ず持参すること。
- (3) 大会出場者で、ホームページ、報道等に、個人名を公表して欲しくない者は、学校を通して申し込み時に開催校学生担当課まで申し出ること。

剣道競技

- 1 期 日 平成26年7月20日(日)・21日(月)
2 会 場 香川高等専門学校詫間キャンパス 第2体育館
3 参加人員 1校から監督1名, コーチ1名, マネージャー1名, 男子選手10名以内,
女子選手(個人戦)3名以内, 計16名以内とする。

4 競技日程

- (1) 7月20日(日)
9:15～ 開会式
9:30～14:30 団体戦リーグ
14:30～ 女子個人戦
(2) 7月21日(月)
9:00～ 男子個人戦
男子個人戦終了後 閉会式

5 競技規則

- (1) (一財)全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則並びに細則」による。
(2) 男子の竹刀は, 長さ120cm以下の竹刀の重さは510g以上とし, 117cm以下の長さの竹刀は480g以上とする。太さは2.6mm以上とする。
女子の竹刀は, 長さ120cm以下の竹刀の重さは440g以上とし, 117cm以下の長さの竹刀は420g以上とする。太さは2.5mm以上とする。
(3) カーボン竹刀の使用を認める。

6 競技方法

- (1) 団体戦
ア リーグ戦とする。
イ 5名をもって1チームを編成する。
ウ 試合は, 3本勝負として2本先取勝とする。制限時間内に一方だけが1本取ったときは, これを勝ちとする。
エ 試合時間は4分とし, 制限時間内に勝負の決しない場合は, 延長戦を行う。延長戦は, 2分間1回だけとし, 先取1本勝ちとする。
なお, 勝負の決しないときは引き分けとする。
オ チームの勝敗は勝者数による。勝者数が同じ場合は取得本数による。取得本数も同じ場合は引き分けとする。
カ 順位は勝数による。勝数が同じ場合は負数の少ない方を優位とし, 負数も同じ場合は勝者数の多い方を優位とする。勝者数の同じ場合は取得本数による。取得本数も同じ場合は, 任意の選手による代表戦(3本勝負)を行う。その時の試合時間は4分(延長は勝負の決するまで)とする。

(2) 個人戦

- ア 男女別トーナメント戦とし、3位決定戦も行う。
- イ 1校から男子は10名以内、女子は3名以内出場できる。
- ウ 試合時間、試合の方法は、団体戦に準ずる。(延長は、勝負の決するまで。)
- エ シード制を採用するので順位を付けて申し込むこと。ただし、シードは前年度の成績を考慮せず、各校の申込み順位の第1位から順に行う。

7 参加申込

- (1) 申込期限 平成26年6月11日(水)
- (2) 申込先 〒769-1192 香川県三豊市詫間町香田551番地
香川高等専門学校詫間キャンパス 学生課学生係
TEL (0875) 83-8517
FAX (0875) 83-7743
E-mail : gakusei@da.kagawa-nct.ac.jp
- (3) 申込方法 所定の剣道競技参加申込書で申し込むこと。

8 競技の組合せ

- (1) 期 日 平成26年6月13日(金)
- (2) 方 法 開催校の責任において実施し、その結果を各学校に通知する。

9 代表者会議

- (1) 日 時 平成26年7月19日(土) 14:30~
- (2) 場 所 香川高等専門学校詫間キャンパス 図書館 会議室(1階)
- (3) 出席者 各校の監督及び主将

10 開会式・閉会式

- (1) 開会式 平成26年7月20日(日) 9:15~
香川高等専門学校詫間キャンパス 第2体育館
- (2) 閉会式 平成26年7月21日(月) 男子個人戦終了後
香川高等専門学校詫間キャンパス 第2体育館

11 その他

- (1) 移動する「つば」及びテープで修理した竹刀の使用は禁止する。
- (2) 選手は、黒布に白字で学校名及び姓を垂に付ける。
- (3) 面ひもの長さは、結び目から40cm以内であること。
- (4) 竹刀の計量は試合開始10分前までに場内の所定の場所で完了すること。
(使用する竹刀は、すべて計量しておくこと。)
- (5) 選手の変更

参加申込後の選手の変更(特に個人戦)は、原則として認めない。ただし、特別の理由があるときは、代表者会議で認めることがある。

(変更願は、開催校所定の様式による。)

◎専門部委員
(○印は専門部長)

○川染 勇人 (D)	湯城 豊勝 (A)	田房 友典 (Y)
長谷川 隆 (T)	秦泉寺俊弘 (K)	笈田 博範 (N)

◎専門審判員
(○印は審判長)

○村上 誠	松原 賢司	小川 聖二	村上 将彦
森川 周士	丸岡友美子	大林 誠二	梶原 一成
宮本 吉彦	竹下 真司	立岩 洋輝	小川 勝
尾寄 秀典	松本 若菜	石川 真大	井下 武徳
金丸万紀子	高崎 嘉男	大西 啓文	井下 震二
續木 秀樹	横澤 政記	喜田 兼司	則包 康行
田尾 豊	本田 新一	穴吹 康伸	小田 泰弘
田澤 慶太			